

今村復興大臣福島県訪問ぶら下がり会見録
(平成28年10月2日(日) 15:45~15:53 於) 福島県郡山市)

1. 発言要旨

今日は郡山駅からスタートしまして、そして、ぐるっと回って、またこちらに戻ってまいりました。御存じかと思いますが、最初に葛尾村に行きまして、「ふたばワールド2016」に出席して、そしてその後、三春町、二本松市、郡山市を視察したところであります。

葛尾村ではイベントで祝辞を述べまして、展示ブースを回って、いろいろなおいしいものをたくさんいただきました。御馳走様でございました。こうやって、皆さんが久しぶりにお会いになって、旧交を温められて、また元気を出して、1日も早い復旧・復興に頑張っていただけのように、そしてまた、復興庁としても、あるいは内閣としても全力を尽くしてお支えしますということをお述べたところであります。

三春町では環境創造センターを視察させていただきました。大変わかりやすい説明、あるいはいろいろな設備がありました。こういったものをもっともっとアピールして、国民の皆さん方にもいろいろな新しい理解をしていただくということは大事なことはないかなというふうに思ったところであります。

二本松市では米の全袋検査を視察させていただきました。テレビ等では見ておったんですけども、現地で見まして、大変シンプルかつ精巧な機械できちんと検査をしておられる。まさに、世界で最高水準の厳しい検査をちゃんと通過した米だということがよくわかりましたし、そういったことをもっと強くアピールされたほうがいいのではないかなということで、こういったステッカーももらいましたけれども、もっと袋にでっかく貼ればよいのではないかと、わかりやすく、世界一安全な米ですよというようなことをやったらどうかという話もしてまいりましたし、また、おにぎりも食べて、大変おいしかった、いろいろなほかのものを食べましたが、本当に御馳走様でございました。

それから、この郡山市では、市長さんからいろいろな市の話、そして特に今回、道路等側溝の除染、除去作業といいますか、これは皆さん御案内かと思いますが、今回、そういうことをやらせていただきますと、是非これはもう市民の皆さん方にも御協力をいただいて、早くこれについてすっきりしていこうということで、お願いもしたところであります。

最後にこの公園を見て、やっとうこうやって少し皆さん方ものどやかな暮らしが出来るようになってきたのかなということで、これ

をまた機会にさらに復興の加速化に向けて頑張っていたといただくということと、あわせて、浪江、富岡、大熊等々からの方もいらっしゃると思いますから、是非そういった方とも、とてもしっかり、また面倒を見てもらおうということで、お願いもしてきたところがございます。以上です。

2. 質疑応答

(問) 全袋検査の視察の部分なんですけれども、やっぱりもっと強くアピールされたほうが良いというような大臣のお話があったと思うんですけれども、やっぱりなかなか全袋検査を続けていっても、やっぱり風評被害が残って、米価が安くなっている影響等が依然として残っている状況にあるんですけれども、今回視察されて、国としてどういった支援をしていこうかという何かお考えは、何か感じるどころがありましたでしょうか。

(答) 支援もそうですけれども、もっと自信を持って、そして、さっき言ったように、こういうステッカーを貼ってあるというのですけれども、もうちょっと、大きくわかりやすく、これだけ、こういう検査をしているんですよと、世界一厳しい基準を通ったお米なんですよということを消費者の人にわかりやすくやってもらう努力をしてもらったほうが良いと思います。関係者は知っていても、肝心要の消費者にそういうことをわかってもらわなければ、いかんと思いますから、是非頑張ってもらいたい。そのためのいろいろな応援を我々はもちろんしますから。

(問) 今の質問に重なるところがあるんですけれども、震災から5年半以上たって、なおも残っている風評の対策というのは何かお考えになっているものはありますか。インバウンドとかもまだまだ元に戻らない状況があるということなんですけれども。

(答) 実態としてはこれだけ厳しい検査もして、本当に安全な農産物になっているわけですから、それをもっとアピールしていいと思いますけれどもね。今、またさらに、なぜ今までこれだけちゃんとしたものができているのに、まだそういう風評が残っているのかということ、風評関係のタスクフォースを今、やっていますが、もう一回指示をして、なぜなんだろうと、どういう手を打ったほうがいいのかということ、とにかくしっかきやろうじゃないかということについて打ち合わせをしたばかりであります。例えばもっと、東京が最大の消費地ですから、東京市場において、そういったことをもっとアピールすることをやったほうが良いのではないかと。それから、流通関係の人にも、これはもっと力を貸してもらう必要があると思います。そういったことを総合的にやってまいります。

(問) 今の東京市場へのアピールということですが、大臣としては、どんなことをされていこうとお考えですか。

(答) 例えばの話ですが、福島県のアンテナショップがあるでしょう。もう少し力を入れて、どんどん宣伝をして、毎月1回ぐらい福島フェアをやって、サービスデーをやっていって、それで食べてもらって安心だということがわかれば、みんな買いますよ。そういうところで我々もしっかり応援させていただきますから、そう思いました。

(問) 今日の視察では、どちらかといえば、復興に向けて県が頑張っていることとか、復興のポジティブな面を視察されたと思うんですけども、それを視察しても、なおやっぱり何が課題か、何が足りていないか、何か感じたことはありましたでしょうか。

(答) やっぱり今日、最初にこの葛尾を見たところですけども、まさにあそこは、今日の挨拶でも言いましたけれども、やっぱり東北の被災地の中でも、非常に厳しい状況にあるということは、我々も承知していますから、だから、決して記者が言うように、いいところばかりを今日行ったわけではありません。今日、私が来たのは、あのフェアに出たのは、復興大臣としては私が初めてだということです。私もあえて、今日はもう日曜日を返上して、そのためにみんな、少しでも元気になってくれればいいという思いで来ました。だから、非常にまだまだ課題を抱えているのがこの双葉地区だということを一番感じていますから、これについてはしっかり支援をしていきたいというように思います。

(以 上)